

西部環境センター維持管理記録書(令和2年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,550
		2号炉	2,627
		3号炉	2,218

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	1,030	800 以上
		2号炉	4月27日	960	
		3号炉	4月30日	979	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	183	概ね 200 以下
		2号炉	4月27日	181	
		3号炉	4月30日	182	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	16	100 以下
		2号炉	4月27日	23	
		3号炉	4月30日	16	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	4月28日	5月26日	0.086 m ³ N/h	38.15 m ³ N/h
	3.1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					8.3 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					5.1 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				10 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	4月14日	5月26日	0.019 m ³ N/h	37.31 m ³ N/h
	0.7 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					3.8 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					2.3 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				24 µg/m ³	50 µg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	4月21日	5月26日	0.058 m ³ N/h	37.07 m ³ N/h
	2.3 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					11 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					6.8 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				11 µg/m ³	50 µg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和2年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,021
		2号炉	2,399
		3号炉	2,990

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月22日	1,076	800 以上
		2号炉	5月31日	980	
		3号炉	5月31日	983	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月22日	184	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	181	
		3号炉	5月31日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月22日	21	100 以下
		2号炉	5月31日	21	
		3号炉	5月31日	21	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	5月8日	6月5日	0.072 m ³ N/h	37.20 m ³ N/h
	2.9 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					3.9 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	2.4 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		38 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和2年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	2,976
		3号炉	2,972

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	—	800 以上
		2号炉	6月30日	955	
		3号炉	6月30日	980	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	—	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	182	
		3号炉	6月30日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	—	100 以下
		2号炉	6月30日	20	
		3号炉	6月30日	15	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		
	1回/2月				ppm		
全水銀	1回/4月				ppm		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	6月2日	7月1日	0.057 m ³ N/h	37.44 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					2.2 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					2.9 mg/m ³ N	
	1回/2月					1.8 ppm	
全水銀	1回/4月					75 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	3号炉	6月5日	7月1日	0.077 m ³ N/h	37.23 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					3.3 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					5.4 mg/m ³ N	
	1回/2月					3.3 ppm	
全水銀	1回/4月					58 ppm	
	1回/4月	ppm	180 ppm	50 µg/m ³			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和2年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,971
		2号炉	3,050
3号炉		2,475	

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	950	800 以上
		2号炉	7月31日	944	
		3号炉	7月31日	953	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	177	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	182	
		3号炉	7月31日	185	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	27	100 以下
		2号炉	7月31日	19	
		3号炉	7月31日	17	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月21日	8月12日	0.024 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	7月17日	8月11日	0.0066 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	7月14日	8月4日	0.00072 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	/	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	/	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	/	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	/	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	/	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	/	
		ppm					
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和2年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,991
		2号炉	1,883
		3号炉	3,019

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	1,004	800 以上
		2号炉	8月31日	970	
		3号炉	8月31日	983	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	181	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	182	
		3号炉	8月31日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	19	100 以下
		2号炉	8月31日	19	
		3号炉	8月31日	14	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	8月7日	9月4日	0.11 m ³ N/h	37.54 m ³ N/h
						4.2 ppm	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
						塩化水素	1回/2月
14 ppm							
窒素酸化物	1回/2月		54 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		32 µg/m ³	50 µg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月		2号炉	8月4日	9月4日	0.029 m ³ N/h	37.31 m ³ N/h
						1.1 ppm	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素				1回/2月	3.8 mg/m ³ N
2.3 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	51 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	30 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	3号炉	8月25日	9月15日	0.18 m ³ N/h	37.33 m ³ N/h	
					7.2 ppm		
ばいじん	1回/2月				<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
					塩化水素	1回/2月	19 mg/m ³ N
12 ppm							
窒素酸化物	1回/2月				40 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				8.0 µg/m ³	50 µg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和2年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,906
		2号炉	—
		3号炉	2,922

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	978	800 以上
		2号炉	9月30日	—	
		3号炉	9月30日	933	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	181	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	—	
		3号炉	9月30日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	16	100 以下
		2号炉	9月30日	—	
		3号炉	9月30日	14	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm				ppm		180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm				ppm	ppm	
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
	ppm				ppm	ppm	
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm	ppm	ppm				
ばいじん	1回/2月	g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N				
	ppm	ppm	ppm				
窒素酸化物	1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和2年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,796
		2号炉	1,877
		3号炉	2,982

データ 項目	測定位置	結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日 1,004	800 以上
		2号炉	10月31日 943	
		3号炉	10月31日 959	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日 185	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日 178	
		3号炉	10月31日 188	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日 16	100 以下
		2号炉	10月31日 28	
		3号炉	10月31日 15	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	10月2日	10月29日	0.052 m ³ N/h	37.12 m ³ N/h	
						2.1 ppm		
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
						塩化水素	1回/2月	3.8 mg/m ³ N
2.3 ppm								
窒素酸化物	1回/2月		51 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月		/	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (サンプリング口)	2号炉	10月20日	11月13日	0.040 m ³ N/h	37.22 m ³ N/h
							1.6 ppm	
ばいじん	1回/2月						<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素					1回/2月	2.3 mg/m ³ N
1.3 ppm								
窒素酸化物	1回/2月	47 ppm		180 ppm				
全水銀	1回/4月	/		50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)		3号炉	10月6日	10月29日	0.13 m ³ N/h	37.85 m ³ N/h
							5.4 ppm	
ばいじん	1回/2月						<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
			塩化水素				1回/2月	6.5 mg/m ³ N
4.0 ppm								
窒素酸化物	1回/2月		46 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月		/	50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和2年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,979
		2号炉	2,947
		3号炉	2,562

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	998	800 以上
		2号炉	11月30日	957	
		3号炉	11月30日	979	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	185	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	180	
		3号炉	11月30日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	17	100 以下
		2号炉	11月30日	24	
		3号炉	11月30日	17	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月6日	11月27日	0.0270 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	11月20日	12月18日	0.0270 ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	11月13日	12月4日	0.0190 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	/	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月		μg/m ³	50 μg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	m ³ N/h	/	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月		μg/m ³	50 μg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	m ³ N/h	/	
					ppm		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
					ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月		μg/m ³	50 μg/m ³			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和2年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,026
		2号炉	1,656
		3号炉	2,971

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	1,020	800 以上
		2号炉	12月31日	968	
		3号炉	12月31日	981	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	185	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	181	
		3号炉	12月31日	186	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	17	100 以下
		2号炉	12月31日	18	
		3号炉	12月31日	16	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	12月4日	1月8日	0.042 m ³ N/h	37.80 m ³ N/h
						1.7 ppm	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
						塩化水素	
2.7 ppm							
窒素酸化物	1回/2月		49 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		6.3 µg/m ³	50 µg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月		2号炉	12月8日	1月8日	0.094 m ³ N/h	37.53 m ³ N/h
						3.6 ppm	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素				1回/2月	
4.4 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	53 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	23 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月	3号炉	12月1日	1月8日	0.069 m ³ N/h	37.25 m ³ N/h	
					2.9 ppm		
ばいじん	1回/2月				<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
					塩化水素		1回/2月
3.5 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	47 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	13 µg/m ³	50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,843
		2号炉	2,435
		3号炉	764

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	1,014	800 以上
		2号炉	1月31日	973	
		3号炉	1月31日	1,033	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	187	概ね 200 以下
		2号炉	1月31日	183	
		3号炉	1月31日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	20	100 以下
		2号炉	1月31日	21	
		3号炉	1月31日	17	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm						
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N		0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				mg/m ³ N		200 mg/m ³ N
	ppm				180 ppm		
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				m ³ N/h	m ³ N/h	
	ppm				0.04 g/m ³ N		
ばいじん	1回/2月				g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
塩化水素	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	1月5日 2月5日	mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
	ppm				180 ppm		
窒素酸化物	1回/2月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月				0.090 m ³ N/h	38.42 m ³ N/h	
	3.5 ppm	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N				
ばいじん	1回/2月	3.5 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N				
塩化水素	1回/2月	2.2 ppm	180 ppm				
窒素酸化物	1回/2月	66 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	μg/m ³	50 μg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,955
		2号炉	2,026
		3号炉	373

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	1,074	800 以上
		2号炉	2月28日	997	
		3号炉	2月28日	956	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	187	概ね 200 以下
		2号炉	2月28日	183	
		3号炉	2月28日	176	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	23	100 以下
		2号炉	2月28日	20	
		3号炉	2月28日	37	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	2月19日	3月4日	0.13 m ³ N/h	38.44 m ³ N/h
	4.9 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					5.1 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	3.1 ppm						
窒素酸化物	1回/2月		53 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月		ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月			μg/m ³	50 μg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

西部環境センター維持管理記録書(令和3年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,043
		2号炉	3,048
		3号炉	3,054

データ 項目	測定位置		結果報告 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	1,078	800 以上
		2号炉	3月31日	996	
		3号炉	3月31日	989	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	184	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	184	
		3号炉	3月31日	177	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	19	100 以下
		2号炉	3月31日	18	
		3号炉	3月31日	31	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
		3号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	2回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	
			3号炉	/	ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	/	m ³ N/h	m ³ N/h	
ばいじん	1回/2月				ppm		
塩化水素	1回/2月				g/m ³ N		
窒素酸化物	1回/2月				mg/m ³ N		
全水銀	1回/4月				ppm		
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	3月9日	3月15日	0.047 m ³ N/h	37.76 m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					1.9 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					6.4 mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月					3.9 ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				46 ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	/	/	m ³ N/h	m ³ N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m ³ N	
窒素酸化物	1回/2月					mg/m ³ N	
全水銀	1回/4月					ppm	
全水銀	1回/4月				ppm	180 ppm	
全水銀	1回/4月				μg/m ³	50 μg/m ³	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。